



被災者の
支援を
目指して

災害時の ボランティア活動

1995年の阪神・淡路大震災以降、全国各地で発生する災害時に多くのボランティアの方々の活発な活動が展開されています。

先に発生した「岩手・宮城内陸地震」の被災地では、多くのボランティアが被災者支援のために活動を展開されました。一昨年、鹿児島県で発生した県北部豪雨災害の時も、8,558名もの多くのボランティアの方々が支援活動を行い、被災地復興に向けてご尽力をいただきました。

今回は、この災害時のボランティア活動に取り組む上での注意点等をまとめてみました。

1 災害ボランティア活動の種類について

- 被災家屋の片付け・家具の移動・ゴミ出し
- 避難所での手伝い（炊き出しや食料等の供給・お年寄りの支援・子ども達の手伝い・救援物資の仕分け・情報の貼出）
- 救援物資の仕分け・配送
- 心のケア・簡単な行事の企画実施
- 安否確認訪問・ボランティアニーズの発掘
- 理容・美容・マッサージ等の資格を生かした活動



県北部豪雨災害時の
災害ボランティア活動の様子（さつま町）

2 基本的な心構えについて

まずは災害ボランティアセンターへ

災害時のボランティア活動では、被災された方々が求めておられることを正確に理解する必要があります。災害ボランティア活動に参加する際は、必ず被災地の災害対策本部や災害ボランティアセンターにお問い合わせのうえ、活動の必要度、内容等を確認するようにしましょう。また、災害ボランティアセンターでボランティア活動保険に必ず加入するようにしてください。



県北部豪雨災害時の
災害ボランティアセンターの様子（湧水町）

3 服装や所持品について

食事や宿泊、活動に必要な装備等は、被災地に負担をかけないように各自で準備しましょう。服装は、活動しやすく汚れてよいものを着用するようにしましょう。準備するものとしては、健康保険証の写しやマスク・ゴム手袋、雨具、携帯ラジオ等活動内容に応じて、必要なものを判断し、準備するようにしましょう。



災害ボラの服装例

災害ボランティア
リーダー養成研修会
のお知らせ

県ボランティアセンターでは、9月29日(月)～30日(火)の2日間にわたり、鹿児島市民文化ホールにおいて災害ボランティアリーダー養成研修会を実施します。参加を希望される方や研修会の内容等についてはホームページをご確認ください。

HPアドレス <http://www.kaken-shakyo.jp/>